

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ドーナラボなは			公表日	2026年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		模様替えや棚の活用、移動できる机の活用などでスペースの確保を意識している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		児童が相談室など死角になる場所にて遊んでいる際には見える場所に職員が立ち、全体に目が行き届くよう、工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	児童が使用する機器関連、玩具置き場など棚に名前を表示し管理している。	少し児童にとって保管場所の分りにくさや段差の分りにくさがあるので、配色や掲示物を使って視覚的に分かりやすい工夫も考えたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		児童帰宅後の清掃も取り組んでおり、汚れた際には都度掃除機をかけたり拭き掃除をするなど清潔な空間の保持に取り組んでいる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		仕切りがあり扉を閉めることができる相談室があったり、簡易的に設置できるテントがあり、職員と相談の上で使用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		朝に事業所内で朝礼を行い、業務改善案や児童の情報を共有し支援に繋げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表はもちろん、毎朝の朝礼やMTG時などに話し合いが行われている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎朝の朝礼MTGや定期的な業務改善会議や支援会議を月に1回以上設け、職員の意見が共有し合えるよう工夫している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		外部評価結果による業務改善は行っていないため、外部評価を行い、業務改善に努めたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		身体拘束、虐待研修などの義務研修に加えて支援研修に関しても案内や会社からのバックアップもある。今後は実務連動を考慮した一体感のある研修受講も考えていきたい	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成した支援プログラムを表にまとめ、ホームページに掲載している。また、ホームページ内文章でも記載されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	できるだけ事業所内だけでの評価で終わらず、保護者や利用対象児童の面談を通して、アセスメントや計画書を作成し支援のミスマッチが起こらないようにしている。	保護者からの意見をしっかりと共有し支援の一貫化や連携強化を図る体系の構築を検討していきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児発管は最後にまとめ、スパイスを入れるが、基本は現場の支援員の気づきや見立てを土台に計画書を作成し、実践できるよう工夫している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		療育支援システムを活用し、職員が支援計画を確認しやすい環境が設定されており、朝礼時などに支援についての共有を行うことで、より良い支援を行えるよう工夫している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		発達知能検査の共有や、朝礼時などに行っている児童支援の共有、保護者面談の実施などに取り組んでいる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		一度決定したプログラムに月単位での動きがないまま進むので、形骸化しないように綿密な相談を行い、新しい試みを取り入れることも考えていきたい

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月更新されるドリル教材の提供や、長期休暇や祝日開所時のイベントなどで児童が様々な経験ができるよう工夫している。	月毎に新しいことを盛り込んでいるが、固定し定着することの重要性も考えていきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		特性や発達の状況により個別と集団を組み合わせたいけるように努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼の際に、支援の内容や役割などある程度決めて、連携して支援に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	必要に応じ終了後に行う事もあるが、毎朝話し合いの時間を設け前日の支援振り返りと共有を行っている。	留意点や共有に関しては時間を取っているが、枠組み自体を構築してもいいかもしれない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	計画書に沿った支援のポイントを共有できるように環境設定や業務効率化を改善目標にしている。	記録に時間がかかってしまい、後日に記録を取ることがある。現在、記録を書くためのポイントや書き方などを工夫して、効率よく記録を取り、日々の支援内容の向上につなげることができるようにしたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		モニタリング会議の開催が不定期なので、定期的にモニタリング会議を行いたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		地域交流の点でもっと交流が持てるよう改善が必要
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5		自己選択しやすい内容の提示を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		事前に事業所内会議を行い、情報をまとめて管理者が会議に参加しているが、状況に応じて児童の状況をよく理解した職員が会議に同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4		必要あれば行なっているが、今後積極的に連携をとっていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者から送信いただいた、学校からの下校時刻変更のお知らせなどを印刷して確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		障害福祉サービス事業所等への移行をおこなった事例がないため、わからないが今後に向けて、事例の情報共有などを行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		今後は積極的に研修を受ける機会を検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		系列事業所の合同の交流会はあるが、今後地域の他児童との交流する機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		交流する機会を設けていきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		活動報告や送迎時の共有にて、留意すべき点の確認も行なっている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		保護者との面談の中で案内を図り、今後ニーズに合わせて検討していく	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や来所時、相談がしやすいように面談日時を設けるなど対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		改善が必要、保護者会を開催していきたい。 定期的な保護者会などの開催も検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		児童や保護者からの苦情や要望があった際には、職員間での話し合い、対応を行なっている。	児童、保護者からの苦情に対しての対応は適切に行っているが、受け付ける体制が明確ではないため、検討設置していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	「今日の活動のようす」としてお写真と内容をLINEからご報告。毎月の「ラボ便り」で活動内容や行事予定を配信している。	活動報告をSNSで行い、今後、年間予定表なども活用していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの本棚に保管し児童や部外者の立ち入りを禁止している。 書類の保管方法、職員PCのパスワード設定など、会社で留意点の確認をしながら対応している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		口頭での活動報告の後に文書での残し報告している。児童に対しても声かけや視覚的誘導なども考慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		地域との連携が取れるよう、地域住民とも交流を行えるようなイベントを実施するなどしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4		一部のマニュアルに対して不足点があるので、迅速に設定して周知、実施を行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3		訓練に対しての計画、年間予定を前もって作成していく必要がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者との情報共有を行い、職員間では社内チャットや口頭、療育支援システム内に情報を記載し周知を行い、適宜観察をおこなっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギーのある児童とはおやつ成分表示を確認し、提供を行なっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理に関する話し合いのもとで事故防止や緊急時対応の体制を整え安全が確保された環境の中で支援を行っています。	安全管理についての共有や周知を行っているが、迅速な変化や対応ができるように今後も共有確認時間をしっかりと作っていきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	保護者へ文書配布や連絡帳、面談等を通して周知するなど家庭と連携を図りながら安全な支援の実施に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット該当者に報告書を提出してもらい、事例について事業所内で検討し、改善している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待を防止をするため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		